



# 巨星墜つ

## キンキいずし考案者

当社中井会長享年89歳

### 水産一筋全力生涯

当社 先代社長で会長の中井英光が今年八月十二日午前十一時四十七分入院先の洞爺温泉病院で波乱のその生涯を閉じた。享年八十九歳だった。

中井英光会長は、日高内浦河町で生を受け、大学卒業後家業の水産加工業を営みながら、水産の道を極めたいと室蘭中央卸売市場で水産の修行を積み、家業の中井策商店を現在の伊達市に移してから取り組んだ新製品「キンキのいずし」を業界で初めて開発、世に出した。

その後、当初の予想を大きく上回る人気となり、今では中井策商店の看板商品となった。また、地元地域経済発展に多大な貢献を行ったとして地元伊達市経済功労表彰、長年の障害者雇用への貢献から、北海道行事表彰も受賞している。

(関連記事4面掲載)

# きんきん新聞

中井策商店とお客様を結ぶ「ミニミニ」新聞

きんきん新聞 第46号 発行：(株)中井英策商店



いずし作りのピークを迎えた当社工場内

## いずし作り本番 今年4万樽目標

### 伝統守り抜く決意新た

今年も、いよいよこの季節がやって来た。当社では、先月十月からキンキを始めとするいずし作りのピークを迎えている。

今年も、全品即種でおよそ4万樽(500g樽換算)の飯寿司を年末までに製造する計画で、当社従業員達による仕込みは日夜続いており、恒例となったテレビ取材なども始まるなど、忙しさは年末まで続く。

## 久々イベント出店復活

開催日	イベント名	開催場所
11月5、6日	FFCすこやか物産展	三重県津市高野尾花街道広場
12月4日	元気復活祭マルシェ	青森県弘前市さくらの百貨店

久々にイベント出店が復活してきただけでなく、当社は、十一月、十二月連続で三重県と青森県でのイベント出店に臨む



癒される川、渡良瀬川

鉄つちゃん旅日記

車窓からの自然景観も飽きない

から調べると、日本三大霊山のひとつで、その景観を生かして映画のロケなどが行われている有名な山であることが分かった。

電車は既に栃木県に入り、山手線と渡良瀬川の合間を走っている。栃木駅、黒川駅と続き、大きな橋を渡って終着小山市に到着した。

新旧の日本の製造業を支えて来た工業地帯と、歴史を感じるエリアが混在するこの地域を走る電車の沿線は、まだまだ見足りないほどの満載のエリアだった。



車窓から見える霊山岩舟山

『ミミズでも食ってれば生きられるさ』  
(キンキいずし開発中の苦しい生活の時も明るく乗り切った例え話談)



20歳の時の中井会長(中央)

『真面目に美味しいもの作るべ』  
(真正直に美味しい飯寿司作りにこだわった会長の口癖)

『猫に食わせたら喜んでニヤ』  
(発売前のキンキいずしの試食を、野良猫に食べさせていた頃の面白談から)

故中井英光会長

水産ひと筋人生その名言、迷言集①

『こいつら守ってやるべな』  
(当社で雇用している障がい者達を思いやる会長の優しさ溢れる口癖だった)

北海道知事表彰式で



北海道知事表彰式で



# 思い出旅日記・鉄道編⑮

当社、中井英策商店は、今年春から青森県弘前市を拠点に活動を展開する女子サッカーチーム「ボン・サジェス」とスポンサー契約を結び、同チームが独自に製作したポロシャツの胸に、当社のロゴ「キンキのいずし」が入った。



足利駅から折角なので歩いて約二十分弱、よるよる通り着いたその橋は、「あれ？ただの鉄橋？」という想像していた橋とは全く違っていた。ただ、その橋の下を流れる一級河川「渡良瀬川」はとても情緒あふれる川で、折角ら釣りをする人もいられるほど。折角なので、室町幕府創設で知られる足利家ゆかり縁結びの神「足利織姫神社」へ（今回、次へ）

## 産業と歴史の町沿線堪能(高崎・小山・両毛線)

旅のスタートは、高崎駅。商業施設も備える大きな駅ビルが建つ高崎駅の隣、切符売り場では、最初の目的地、桐生駅までの切符を購入し、高崎駅朝の6時53分始発小山行き電車に乗り込んだ。

座席はお見合い式の都市圏で通常に使われている電車。朝早くから、学生服姿の中高生や作業服姿の工場作業員の通勤客も多く、ほぼ満席の状態です。車窓からは、群馬県内でも多い人口の街らしく、暫く市街地が続く。高崎問屋町駅、井野、新前橋駅と続く中で、車窓が目立ったのはズバリ大小の様々な業種の工場が多いからだと分かった。特に、新前橋駅では作業員風の通勤客が大勢降り、車窓からは機械や金属

加工などの工場が立ち並んでいるのが目立ちました。そして電車は、群馬県の県庁所在地、前橋市街の中心の前橋駅に到着した。さすがにここでは、学生やサラリーマン、公務員風の通勤客の多くが降り、車内からはそれまでの混雑状態から一気にとどかな雰囲気になった。

その後電車は、伊勢崎駅、国定駅、岩宿と続き、ほぼ小一時間で最初の目的地、桐生駅に到着。まずここで電車を降り、桐生織りな

どの繊維工業などで発達した桐生市街を歩くことにした。向かったのは、歴史的な伝統建物保存地区となつていてエリアへ。駅から歩いて十五分、かつて繊維工業で栄えた歴史的な建物エリアに着いた。ただ、想像していたほどの集積エリアとは違って、きちんと管理された雰囲気ではなく、急いで桐生駅に戻って、次の電車に乗車、三つ目の駅、足利駅に到着。ここで再び途中下車した。

足利駅から折角なので歩いて約二十分弱、よるよる通り着いたその橋は、「あれ？ただの鉄橋？」という想像していた橋とは全く違っていた。ただ、その橋の下を流れる一級河川「渡良瀬川」はとても情緒あふれる川で、折角ら釣りをする人もいられるほど。折角なので、室町幕府創設で知られる足利家ゆかり縁結びの神「足利織姫神社」へ（今回、次へ）

たが、学生服姿の中高生や作業服姿の工場作業員の通勤客も多く、ほぼ満席の状態です。車窓からは、群馬県内でも多い人口の街らしく、暫く市街地が続く。高崎問屋町駅、井野、新前橋駅と続く中で、車窓が目立ったのはズバリ大小の様々な業種の工場が多いからだと分かった。特に、新前橋駅では作業員風の通勤客が大勢降り、車窓からは機械や金属

加工などの工場が立ち並んでいるのが目立ちました。そして電車は、群馬県の県庁所在地、前橋市街の中心の前橋駅に到着した。さすがにここでは、学生やサラリーマン、公務員風の通勤客の多くが降り、車内からはそれまでの混雑状態から一気にとどかな雰囲気になった。



織姫神社境内にある恋人の聖地「愛の鐘」



## 青森県の女子サッカーチームを応援

このセツトは、当社看板商品のキンキいずしと、ロングセラーの

当社、中井英策商店は、今年春から青森県弘前市を拠点に活動を展開する女子サッカーチーム「ボン・サジェス」とスポンサー契約を結び、同チームが独自に製作したポロシャツの胸に、当社のロゴ「キンキのいずし」が入った。

この五年前弘前市で創立、サッカーやフットサルでの各種大会に出場、「一生涯スポーツウーマンを目指して、子どもから大人まで」をテーマに活動している。

## 3点盛りセツト 人気爆発製造3倍増へ 欠品回避へ生産強化

当社、中井英策商店は、今年末、人気となったセツト商品「旬のいずし3点盛りセツト」を、前年の三倍となるおよそ九〇〇〇セツトを製造することを決定。お得意先の要望に応えることにした。

このセツトは、当社看板商品のキンキいずしと、ロングセラーの

昨年とは年末集中生産でおよそ3千セツトを製造したが、殺到する注文に対応できず、多くのお得意先にご迷惑をかけた苦い経験から、今年度は昨年末の約三倍の9千セツトを製造する準備を完了。今年度はご迷惑をおかけしないように万全を尽くす(当社及川社長と、期待を込めて製造に入っている。

紅鮭、ハタハタいずし、三種類を食べ切りサイズの一回〇〇ギイーズで詰め合わせたオリジナルセツト。

### 大物釣りに本場に行きたい

今年で入社3年の高橋省吾さん、恥ずかしがりやでシャイでも、秘かな情熱を秘めるタイプの彼に今年で3年、早かったですね。

ハイ、飯寿司作りにも慣れて来ました。最初は戸惑うことばかりでした。

入社して最初の印象は？

正直、もっと厳しいイメージでしたが、意外に自由で、のびのび仕事しているなあと印象でした。先輩の皆さんも優しく、雰囲気はとても良かったです。中井工場長は幼馴染で、小さい時からお世話になった中井さんなので、少しでも恩返しが出来ればというお気持ちです。印象に残る出来事はありませんか？

やはり、テレビ取材の多さです。特に作っている時に、手元を映されるととても緊張します。今は少し慣れてきましたが、ドキドキ

楽しかった思い出は何ですか？

皆で行く社員旅行が楽しかったですね。露天風呂に浸かりながら先輩社員と語り合ったのは素敵な思い出です。泊りでの旅は、スタッフみんなの素顔が見られて、仲良くなれます。

ズバリ今の夢を聞かせて下さい。

今、魚釣りにハマってまして、大物を釣りに色々な名所や本場に行ってみたいです。釣り道具も憧れの用具を揃えてみたいです。あとけなさも残る、優しい顔立ちで独身の高橋省吾さん。今はご両親と3人暮らしですが、釣りに出かける日を、職場の周りにも、待っています。

スタッフ紹介